

# 一般社団法人 日本界面学会

## —他学会との交流講演会—

下記の通り、日本接着学会 接着界面科学研究会との共催による講演会を開催いたします。界面研究は様々な分野で行われていることから、他学会との情報共有が必要です。この度は接着界面科学研究会と共同で講演会を開催することになりました。日本接着学会との協調・融合による界面研究の更なる発展に向け、活発な意見交換の場としてご活用いただきたく、ご参加のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

### 記

開催日 : 2022年3月18日(金) 13:00~17:40

開催方法 : ZOOMを用いたオンライン講演

### 【概要】

### 【プログラム】

13:00~13:15 接着界面科学研究会の活動概要

接着界面科学研究会 委員長 加納 義久 氏

13:15~13:30 日本界面学会の活動概要

日本界面学会 会長 上田 政人 氏

### 基調講演 I

13:30~14:30 「反応性高分子を用いる炭素材料表面の精密設計とその応用」

山形大学 高橋 辰宏 氏

概要 : ポリビニルオキサゾリンを用い、その一部が材料表面のカルボン酸と結合し、更にカルボン酸を含む分子やナノフィラー等と反応する「均一な反応性高分子ナノ薄膜」が容易に形成できる。界面への応用についても紹介する。

14:30~14:40 休憩

### 基調講演 II

14:40~15:40 「反応性高分子を用いる易解体性接着材料 : 高強度化と界面剥離達成のための分子設計」

大阪市立大学 佐藤 絵里子 氏

概要 : 易解体性接着材料とは、接着性と解体性を両立可能な接着材料であり、接着強度の低下に加え、界面剥離による解体が求められることが多い。硬化型接着材料の界面剥離

による解体を達成した例を中心に、高機能化のための反応性高分子の分子設計について紹介する。

### キーワード(界面)講演 I

15:40～16:20 「GFRP に及ぼすシラン処理効果」

元 湘南工科大学 幾田 信生 氏

概要：GFRP に良く用いられるシランカップリング剤は界面強化として複合材料の破断過程に影響を及ぼす。それだけでなく、成形時の樹脂含浸性や樹脂硬化（固化）過程にも影響する。これらの効果について演者の研究を元に系統的に紹介する。

### キーワード(界面)講演 II

16:20～17:00 粘着付与樹脂を添加したゴム系粘着剤の表面構造と接着特性

積水化学工業 緒方 雄大 氏

概要：ゴム系粘着剤とは、共役ジエンポリマーと粘着付与剤からなる最も汎用的な粘着剤である。このように多成分な粘着剤の表面構造と接着特性は、深く関係すると考えられるが十分な議論は少ない。ゴム系粘着剤に対して行った表面分析の結果と得られた考察を紹介する。

### キーワード(界面)講演 III

17:00～17:40 「カーボンファイバと樹脂界面の接着性 ～プラズマ処理から 3DP フィラメントまで～」

岐阜大学 大越 雅之 氏

概要：1. 大気圧プラズマ処理；オンデマンド表面処理を目的に、CF表面に有機官能基を導入し樹脂との密着性を向上させた（2013）。2. 短繊維処理：CF上にポリマーを被覆させ、メインマトリックスとの密着性を向上させ、弾性率を向上させた（2016）。3. 連続繊維処理；3DPフィラメント用にポリマーブレンドによる表面改質し、造形物曲線部に強い構造体を得た（2019）。

注意点：本例会で使用される配信動画は著作物であり、録音・録画を禁止いたします。

### 【参加費】

日本界面学会会員：無料（今年度は入会費無料ですので、是非ご入会下さい）

非会員：18,000 円

学 生： 2,000 円

【お申込み方法】 下記を日本界面学会事務局 永田（[fibro2@kit.ac.jp](mailto:fibro2@kit.ac.jp)）へご連絡ください。接続先 URL をご連絡いたします。また、非会員または学生の場合には、お振り込み先をご連絡いたします。Zoom 接続先は、3月16日にメールにてご連絡いたします。Zoom 接続時にご登録者のお名前でご参加頂けますようお願いいたします。

お名前：

ご所属：

区分：会員・非会員・学生（該当する区分のみご記載ください）